

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-3-2	全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している
タイトル①	理論と実践の双方の理解により保育力向上に努めています	
内容①	年齢ごとに月案・週案日誌が設定されており、計画的に・各クラスの連携を図れるように話し合いのもと策定されています。特に月案の策定について細かな指導に努めており、「案作成により職員の保育への理解度が見えてくる」との方針のもと書面上だけでなく、実践を見せることでそれぞれの年齢に沿った保育ができるよう指導にあたっています。理論と実践の双方への理解を深め、保育力向上に努めています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-6	子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している
タイトル②	指導計画との整合性の確保等充実した計画のもと食育が行われています	
内容②	年間の食育計画が立案されており、5つの目標、月齢・年齢ごとの取り組み、ねらい、援助と配慮等が盛り込まれています。行事企画の計画とは一線を画す内容となっており、特に子どもの姿については単純に年齢で区切るのではなく、それぞれの目標に対してゆるやかなタームを目安としています。全体的な計画・年齢ごとの指導計画と整合性を持たせる内容となっています。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-1-1	利用希望者等に対してサービスの情報を提供している
タイトル③	書面と見学の双方の工夫により園への理解を深める取り組みがなされています	
内容③	パンフレットのほかに園見学者専用の書面が用意されており、ブログとあわせて園の方針や保育内容を知ることができます。また園見学時にはコロナ禍に配慮しつつも実際の保育場面を見てもらいたいため、散歩に同行してもらうなど工夫に努めています。	